



なかしん

# 中小企業景況レポート

No.33 中栄信用金庫 地域支援部

2019年10月～12月実績と2020年1月～3月見込み

## ◆調査概要

調査時期 2019年12月上旬  
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町  
 調査企業数 345社  
 回答企業数 326社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	95	90	94.7
卸売業	29	28	96.5
小売・飲食業	61	60	98.3
サービス業	58	51	87.9
建設業	65	62	95.3
不動産業	37	35	94.5
合計	345	326	94.4

## ◆10月～12月期の概況

～景況感は1年ぶりに回復、先行きは不透明感が広がる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は 0.3 を示し、前回調査（2019年7～9月期）に比べ 4.8 ポイントの改善となりました。

これは消費増税に伴う駆け込み需要の反動や天候不順により、個人消費は一時的な落ち込みがみられたものの、政府による消費増税対策や年末需要の影響に加え、建設業や運送業では、安定した受注を確保していることから、売上額・収益 D.I. は 1 年ぶりにプラス域に転じ、景況感は改善に至っております。また、最低賃金の引き上げや人手不足に伴う人件費の負担感が増す中、一部企業では、機械設備や工程管理システムの導入により、残業時間の削減、業務プロセスの改善に努める動きがみられます。

しかし特別調査によると、2020年の日本の景気見通しを「良い局面」と回答した企業が約 2 割弱に対し、「悪い局面」と回答した企業が約 4 割となり、前年同期に比べ「悪い局面」と回答する割合が増加していることから、オリンピック終了後の動向や海外情勢の影響などへの警戒感により、先行き不透明感が広がっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は 14.7 ポイント改善の 9.5、収益実績 D.I. は 14.3 ポイント改善の 4.0 となっております。また、仕入価格 D.I. は 2.0 ポイント上昇の 30.9、人手過不足 D.I. はほぼ横ばいの▲33.8、資金繰り D.I. は 4.8 ポイント改善の▲10.7 となっております。また業種別の景況感は、サービス業が 21.9 ポイント改善の 5.9、建設業が 21.0 ポイント改善の 32.3、不動産業が 6.1 ポイント改善の 20.0、製造業がほぼ横ばいの▲7.8、小売・飲食業が 8.7 ポイント悪化の▲27.1、卸売業が 18.0 ポイント悪化の▲21.4 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 3.1 ポイント悪化の▲7.8、神奈川県内については 1.4 ポイント小幅悪化の▲5.9 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

## ◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は、10.8 ポイント悪化の▲10.5、売上額 D.I. は 18.2 ポイント悪化の▲8.7、収益 D.I. は 12.9 ポイント悪化の▲8.9 の予想となっております。

### 業況判断 D.I. 値 (全業種)



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000 (うち神奈川県 約 480) の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

### 業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調

# 製造業

## 概況

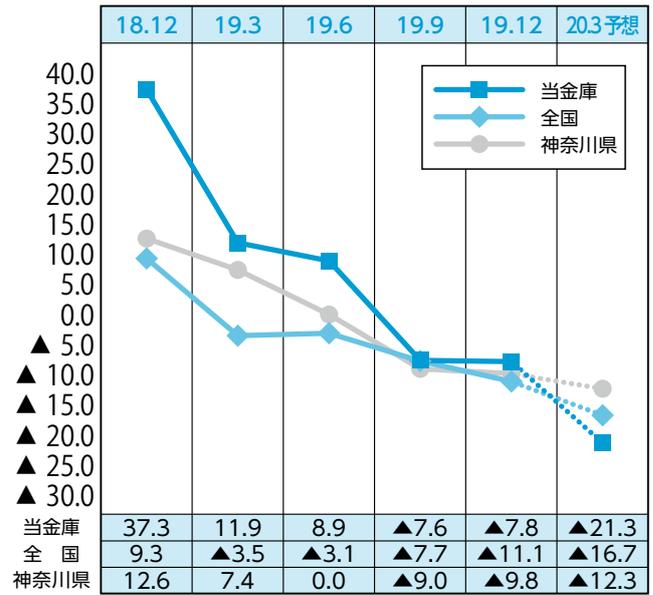
製造業の業況判断 D.I. は前回からほぼ横ばいの▲7.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 14.0 ポイント改善の▲4.5、収益 D.I. は 12.7 ポイント改善の▲12.3 となっております。

一部企業においては、取引先との単価交渉や受注の選別により、販売価格 D.I. は 5.4 ポイント改善の 3.3 となり、売上額・収益 D.I. は改善に至ったものの、先行きの不透明感や取引先の在庫調整に加え、半導体関連の回復が後ずれしているという声も聞かれ、受注残の減少がみられることから、景況感はマイナス域となっております。また一部企業においては、機械設備や工程管理システムの導入により、残業時間の削減、業務プロセスの改善に努める動きもみられます。

なお、全国は 3.4 ポイント悪化の▲11.1 となっており、神奈川県は 0.8 ポイント小幅悪化の▲9.8 となっております。

来期の予想業況判断については、13.5 ポイント悪化の▲21.3 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	26.0	29.5	44.5	D.I.
当期実績	25.8	43.9	30.3	▲4.5	
来期予想	14.7	47.8	37.5	▲22.8	
前年同期比	28.8	32.4	38.8	▲10.0	

### 販売価格

	前期実績	+6.5	84.9	8.6	D.I.
当期実績	+8.8 <td>85.7 <td>5.5</td> <td>3.3</td> </td>	85.7 <td>5.5</td> <td>3.3</td>	5.5	3.3	
来期予想	+4.4 <td>88.9 <td>6.7</td> <td>▲2.3</td> </td>	88.9 <td>6.7</td> <td>▲2.3</td>	6.7	▲2.3	

### 在庫

	前期実績	13.0	84.9	2.1	D.I.
当期実績	11.1 <td>85.6 <td>3.3</td> <td>7.8</td> </td>	85.6 <td>3.3</td> <td>7.8</td>	3.3	7.8	
来期予想	13.4 <td>83.3 <td>3.3</td> <td>10.1</td> </td>	83.3 <td>3.3</td> <td>10.1</td>	3.3	10.1	

### 人手

	前期実績	+10.8	64.2	25.0	D.I.
当期実績	+10.0 <td>65.6 <td>24.4</td> <td>▲14.4</td> </td>	65.6 <td>24.4</td> <td>▲14.4</td>	24.4	▲14.4	
来期予想	12.3 <td>65.3</td> <td>22.4</td> <td>▲10.1</td>	65.3	22.4	▲10.1	

### 収益

	前期実績	17.3	40.4	42.3	D.I.
当期実績	17.7 <td>52.3</td> <td>30.0</td> <td>▲12.3</td>	52.3	30.0	▲12.3	
来期予想	+10.1	55.1	34.8	▲24.7	
前年同期比	21.1	40.1	38.8	▲17.7	

### 原材料価格

	前期実績	26.3	73.7	26.3	D.I.
当期実績	27.7 <td>72.3</td> <td>27.7</td> <td>27.7</td>	72.3	27.7	27.7	
来期予想	13.4 <td>83.3</td> <td>3.3</td> <td>10.1</td>	83.3	3.3	10.1	

### 資金繰り

	前期実績	+7.6	75.1	17.3	D.I.
当期実績	+4.4 <td>79.0</td> <td>16.6</td> <td>▲12.2</td>	79.0	16.6	▲12.2	
来期予想	+6.7 <td>72.0</td> <td>21.3</td> <td>▲14.6</td>	72.0	21.3	▲14.6	

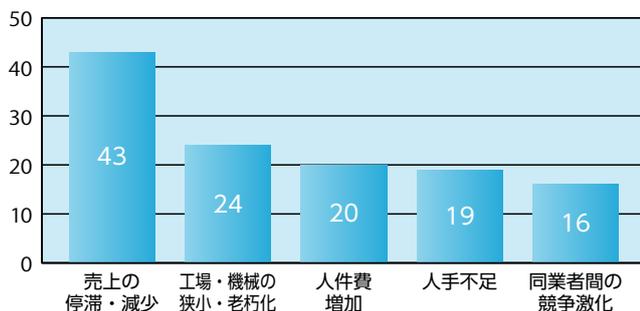
### 設備状況

	前期実績	+2.2	75.6	22.2	D.I.
当期実績	+2.2 <td>76.5</td> <td>21.3</td> <td>▲19.1</td>	76.5	21.3	▲19.1	
来期予想	+3.4 <td>78.5</td> <td>18.1</td> <td>▲14.7</td>	78.5	18.1	▲14.7	

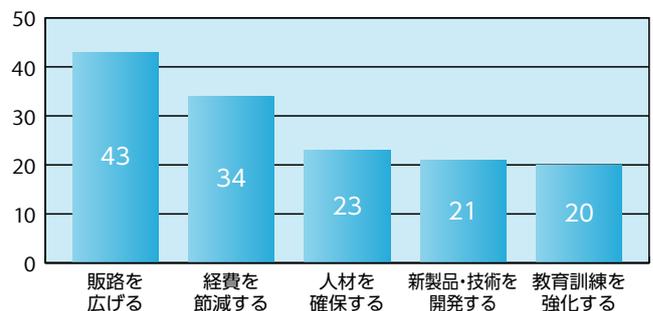
当期実績…2019年10～12月期  
来期予想…2020年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 卸売業

## ●概況

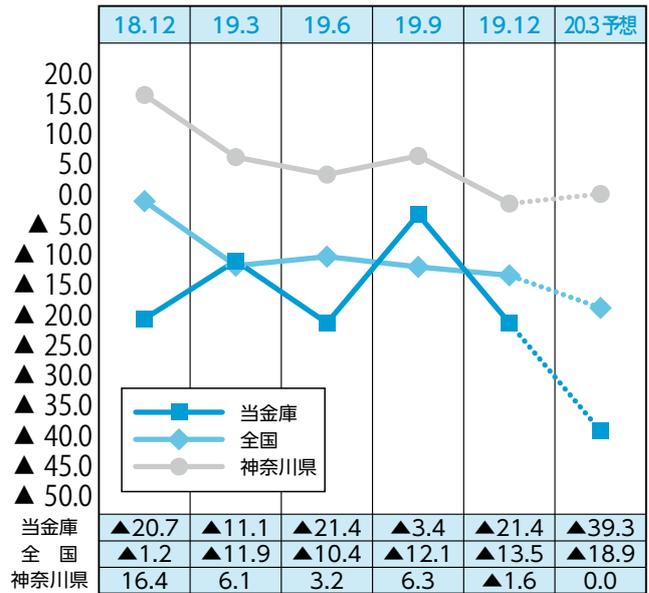
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.0 ポイント悪化の▲21.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 31.7 ポイント悪化の▲21.4、収益 D.I. は 4.1 ポイント悪化の▲17.9 となっております。

建材卸を中心に、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減がみられたほか、建材卸や食品卸では、人件費や運送費等の負担増加に加え、取引先の減少を経営上の問題点として挙げていることから、売上、収益は対前年で落ち込み、景況感は悪化に至っております。また流通経路の短縮化・合理化が進む中、販売先ニーズへの対応による信頼関係の構築に向け、今後の施策として、約 2 割の企業が品揃えの充実、情報力の強化を挙げております。

なお、全国は 1.4 ポイント小幅悪化の▲13.5 となっており、神奈川県は 7.9 ポイント悪化の▲1.6 となっております。

来期の予想業況判断については、17.9 ポイント悪化の▲39.3 となっております。

## ●業況判断 D.I. 値



### 売上額

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	34.4	41.5	24.1	10.3
当期実績	21.4	35.8	42.8	▲21.4
来期予想	17.8	46.5	35.7	▲17.9
前年同期比	28.5	32.3	39.2	▲10.7

### 販売価格

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	13.7	82.9	3.4	10.3
当期実績	14.2	75.1	10.7	3.5
来期予想	14.2	82.3	3.5	10.7

### 在庫

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	13.7	79.5	6.8	6.9
当期実績	+10.7	89.3		10.7
来期予想	+10.7	82.2	7.1	3.6

### 人手

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	+3.5	71.5	25.0	▲21.5
当期実績		66.7	33.3	▲33.3
来期予想		66.7	33.3	▲33.3

### 収益

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	13.7	58.8	27.5	▲13.8
当期実績	14.2	53.7	32.1	▲17.9
来期予想	+7.1	64.4	28.5	▲21.4
前年同期比	14.8	48.2	37.0	▲22.2

### 仕入価格

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	41.3	55.3	3.4	37.9
当期実績	35.7	53.6	10.7	25.0
来期予想	21.4	75.1	3.5	17.9

### 資金繰り

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績	+6.8	62.2	31.0	▲24.2
当期実績	+10.7	57.2	32.1	▲21.4
来期予想	+3.5	64.4	32.1	▲28.6

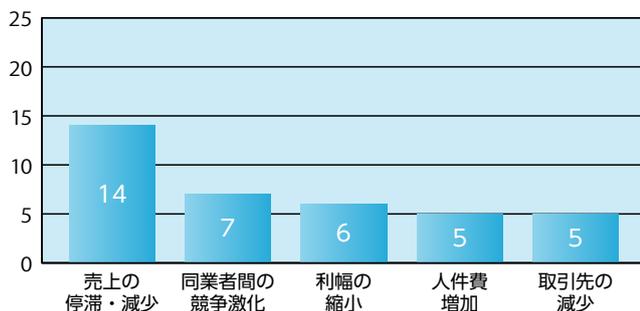
### 設備状況

	18.12	19.3	19.6	D.I.
前期実績		92.4	7.6	▲7.6
当期実績	+4.0	76.0	20.0	▲16.0
来期予想	+3.8	77.0	19.2	▲15.4

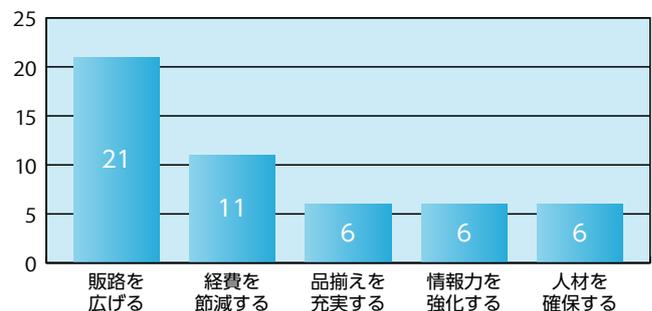
当期実績…2019年10～12月期  
来期予想…2020年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 小売・飲食業

## ●概況

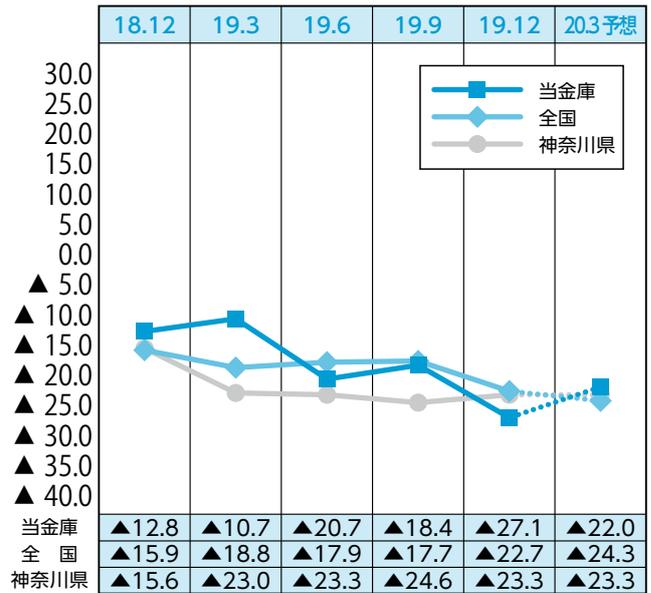
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.7 ポイント悪化の▲27.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 30.0 ポイント改善の 15.0、収益 D.I. は 23.3 ポイント改善の 11.6 となっております。

一部では、年末需要や地域イベントへの参加に加え、キャッシュレス決済導入に伴う客単価の上昇により、売上回復がみられたものの、食料品小売業を中心に、約半数の企業が、原材料や包装材等の仕入価格が上昇したと回答し、厳しい経営環境がうかがえることから、景況感はマイナス域が続いております。また消費増税は、見通しより悪い影響とする企業は約 3 割となり、今後は、軽減税率制度導入に伴う区分経理への対応が課題となっております。

なお、全国は 5.0 ポイント悪化の▲22.7 となっており、神奈川県は 1.3 ポイント小幅改善の▲23.3 となっております。

来期の予想業況判断については、5.1 ポイント改善の▲22.0 となっております。

## ●業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	28.3	28.4	43.3	D.I.
当期実績	38.3	38.4	23.3	15.0	
来期予想	21.6	43.4	35.0	▲13.4	
前年同期比	22.4	44.9	32.7	▲10.3	

### 販売価格

	前期実績	16.6	78.4	5.0	D.I.
当期実績	30.0	63.4	6.6	23.4	
来期予想	-10.0	76.7	13.3	▲3.3	

### 在庫

	前期実績	-1.6	93.4	5.0	D.I.
当期実績	20.0	70.0	10.0	10.0	
来期予想	11.6	81.8	6.6	5.0	

### 人手

	前期実績	+6.6	46.8	46.6	D.I.
当期実績	+3.3	51.0	45.7	▲42.4	
来期予想	+5.0	50.0	45.0	▲40.0	

### 収益

	前期実績	28.3	31.7	40.0	D.I.
当期実績	36.6	38.4	25.0	11.6	
来期予想	18.3	46.7	35.0	▲16.7	
前年同期比	15.5	46.6	37.9	▲22.4	

### 仕入価格

	前期実績	25.0	71.7	3.3	D.I.
当期実績	55.0	43.4	1.6	53.4	
来期予想	30.0	61.7	8.3	21.7	

### 資金繰り

	前期実績	-10.0	61.7	28.3	D.I.
当期実績	-10.0	66.7	23.3	▲13.3	
来期予想	+6.6	70.1	23.3	▲16.7	

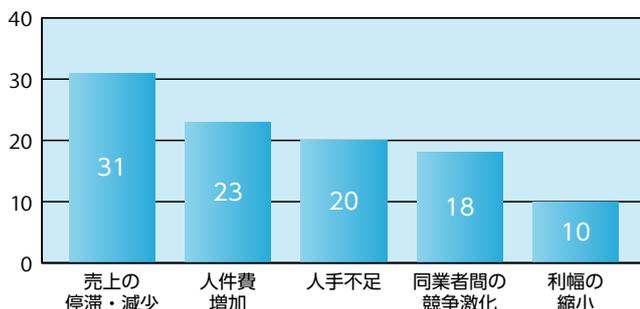
### 設備状況

	前期実績	+3.3	84.9	11.8	D.I.
当期実績	+5.0	81.5	13.5	▲8.5	
来期予想	+5.1	81.2	13.7	▲8.6	

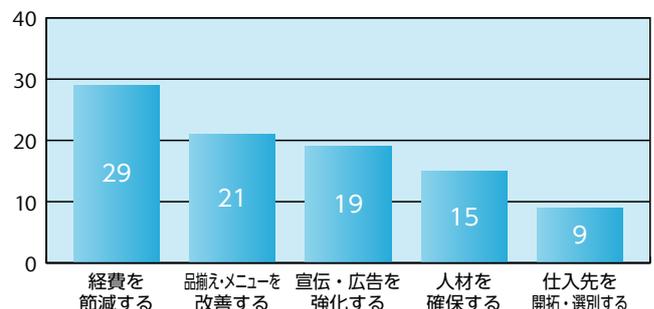
当期実績…2019年10～12月期  
来期予想…2020年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

### 経営上の問題点 (複数回答)



### 当面の重点経営施策 (複数回答)



# サービス業

## 概況

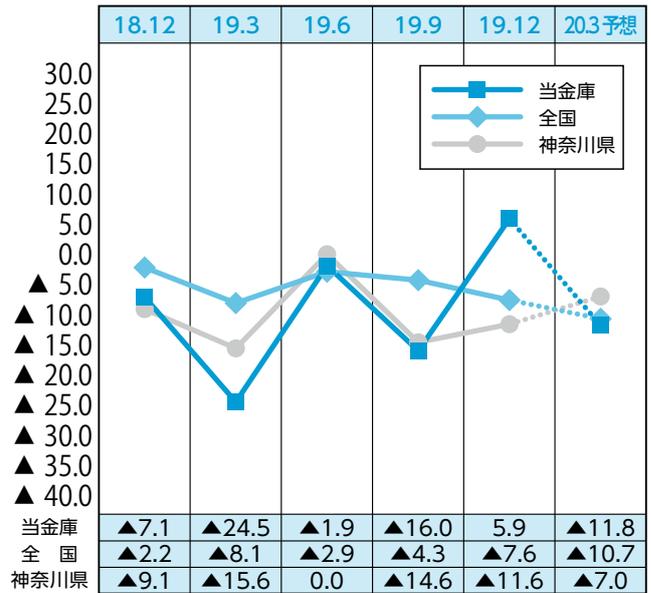
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 21.9 ポイント改善の 5.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 21.5 ポイント改善の 23.5、収益 D.I. は 27.6 ポイント改善の 17.6 となっております。

一部の旅館業において、台風等の天候不順に伴う客足の減少がみられる中、運送業を中心とした受注の増加とともに介護事業においても堅調な様子が見受けられることから、売上額・収益 D.I. は改善となり、景況感 は 3 年ぶりにプラス域に転じております。また運送業や介護事業において、人手不足が顕在化しており、約 1 割の企業においては、人材の定着を図るため、労働条件の改善を今後の重点施策とする動きもみられます。

なお、全国は 3.3 ポイント悪化の ▲7.6 となっており、神奈川県は 3.0 ポイント改善の ▲11.6 となっております。

来期の予想業況判断については、17.7 ポイント悪化の ▲11.8 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	D.I.			
前期実績	30.0	42.0	28.0	2.0
当期実績	43.1	37.3	19.6	23.5
来期予想	19.6	55.0	25.4	▲5.8
前年同期比	37.2	39.3	23.5	13.7

### 料金価格

	D.I.			
前期実績	+8.1	83.8	8.1	0.0
当期実績	17.6	78.5	3.9	13.7
来期予想	15.6	78.6	5.8	9.8

### 資金繰り

	D.I.			
前期実績	+4.0	56.0	40.0	▲36.0
当期実績	+5.8	66.8	27.4	▲21.6
来期予想	+7.8	62.8	29.4	▲21.6

### 設備状況

	D.I.			
前期実績	+4.0	65.4	30.6	▲26.6
当期実績	+3.9	62.8	33.3	▲29.4
来期予想	+5.8	59.0	35.2	▲29.4

### 収益

	D.I.			
前期実績	20.0	50.0	30.0	▲10.0
当期実績	37.2	43.2	19.6	17.6
来期予想	19.6	53.0	27.4	▲7.8
前年同期比	37.2	41.3	21.5	15.7

### 材料価格

	D.I.			
前期実績	24.4	75.6		24.4
当期実績	23.5	76.5		23.5
来期予想	17.6	78.5	3.9	13.7

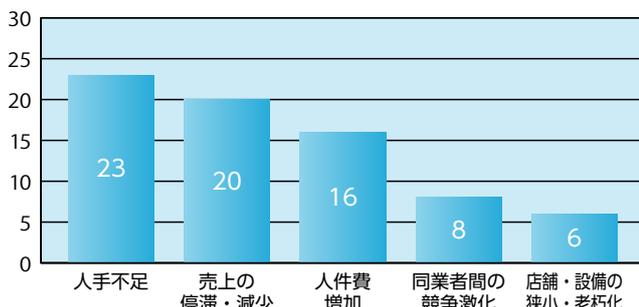
### 人手

	D.I.			
前期実績	+6.0	44.0	50.0	▲44.0
当期実績	+9.8	33.4	56.8	▲47.0
来期予想	+7.8	47.2	45.0	▲37.2

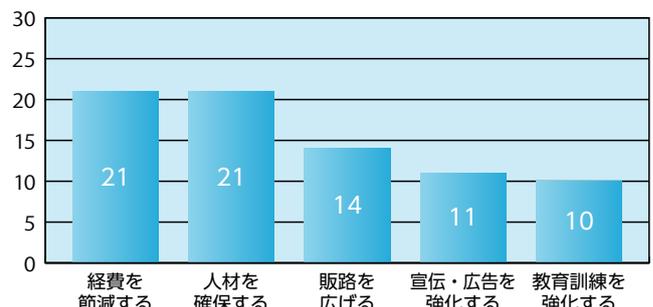
当期実績…2019年10～12月期  
来期予想…2020年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 建設業

## 概況

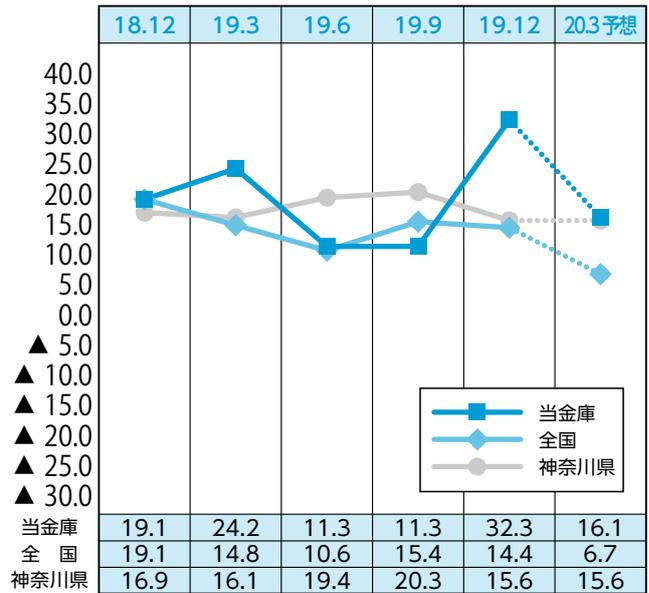
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 21.0 ポイント改善の 32.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 21.2 ポイント改善の 29.1、収益 D.I. は 11.3 ポイント改善の 14.5 となっております。

公共工事や民間工事の安定した受注の確保とともに、台風等の影響に伴う復旧工事の増加がみられたことから、売上額・収益 D.I. が改善となり、景況感は改善に至っております。しかし一部では、人手不足や外注先の確保難による工期の延長とともに、長期の大型工事受注に伴う材料、外注費の支払い先行に苦慮する様子も見受けられることから、今後は資金繰りの悪化が見込まれます。

全国は 1.0 ポイント小幅悪化の 14.4 となっており、神奈川県は 4.7 ポイント悪化の 15.6 となっております。

来期の予想業況判断については、16.2 ポイント悪化の 16.1 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	D.I.			
前期実績	31.7	44.5	23.8	7.9
当期実績	40.3	48.5	11.2	29.1
来期予想	20.9	64.6	14.5	6.4
前年同期比	43.5	38.8	17.7	25.8

### 請負価格

	D.I.			
前期実績	14.2	77.9	7.9	6.3
当期実績	12.9	74.2	12.9	0.0
来期予想	9.6	77.5	12.9	▲3.3

### 在庫

	D.I.			
前期実績	11.1	84.2	4.7	6.4
当期実績	3.2	95.2	1.6	1.6
来期予想	4.8	93.6	1.6	3.2

### 人手

	D.I.			
前期実績	1.6	33.9	64.5	▲62.9
当期実績	1.6	45.2	53.2	▲51.6
来期予想	48.4	51.6		▲51.6

### 収益

	D.I.			
前期実績	30.1	43.0	26.9	3.2
当期実績	27.4	59.7	12.9	14.5
来期予想	24.1	63.0	12.9	11.2
前年同期比	35.4	45.3	19.3	16.1

### 材料価格

	D.I.			
前期実績	46.0	52.5	1.5	44.5
当期実績	33.8	66.2		33.8
来期予想	27.4	72.6		27.4

### 資金繰り

	D.I.			
前期実績	14.2	60.5	25.3	▲11.1
当期実績	12.9	74.2	12.9	0.0
来期予想	11.2	72.7	16.1	▲4.9

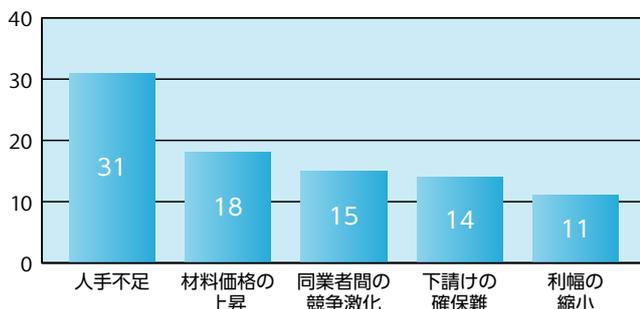
### 設備状況

	D.I.			
前期実績	1.5	92.2	6.3	▲4.8
当期実績	1.6	90.3	8.1	▲6.5
来期予想	3.3	91.7	5.0	▲1.7

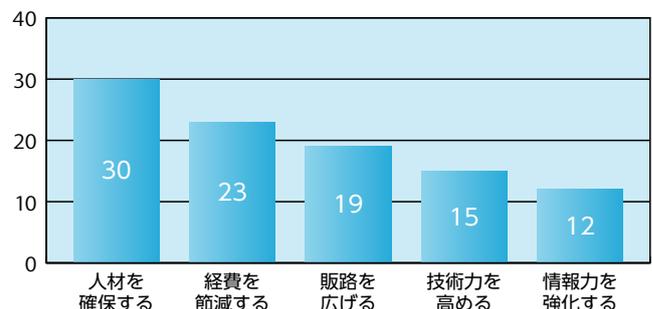
当期実績…2019年10～12月期  
来期予想…2020年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 不動産業

## 概況

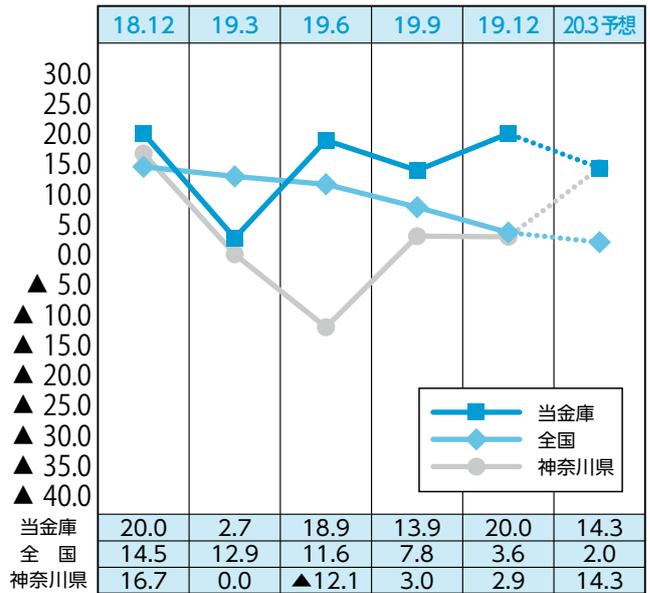
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.1 ポイント改善の 20.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 5.6 ポイント改善の 5.6、収益 D.I. は 2.9 ポイント改善の 11.2 となっております。

一部では、消費増税に伴う駆け込み需要の反動から、一時的な落ち込みがみられたものの、政府による住宅取得支援策などの影響もあり、商品物件の販売に動きがみられ、早期売却が見込まれる商品物件の仕入れが増加していることから、景況感はプラス域を維持しております。また税制の特例措置以降の不動産動向の落ち込みを想定し、リスク軽減を図るため、JVでの大型案件の仕入を行う動きもみられます。

全国は 4.2 ポイント悪化の 3.6 となっており、神奈川県はほぼ横ばいの 2.9 となっております。

来期の予想業況判断については、5.7 ポイント悪化の 14.3 となっております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	25.0	50.0	25.0		0.0
当期実績	22.2	61.2	16.6		5.6
来期予想	27.7	55.7	16.6		11.1
前年同期比	30.5	44.5	25.0		5.5

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+ 8.3	72.3	19.4	▲11.1
当期実績	+ 5.5	83.4	11.1	▲5.6
来期予想	+ 5.5	83.4	11.1	▲5.6

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.1	55.6	33.3	▲22.2
当期実績	+ 8.3	52.9	38.8	▲30.5
来期予想	+ 5.5	52.9	41.6	▲36.1

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	77.8	22.2		▲22.2
当期実績	80.6	19.4		▲19.4
来期予想	77.8	22.2		▲22.2

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	33.3	41.7	25.0		8.3
当期実績	25.0	61.2	13.8		11.2
来期予想	30.5	55.7	13.8		16.7
前年同期比	33.3	41.7	25.0		8.3

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	25.0	69.5	5.5	19.5
当期実績	13.8	83.5	2.7	11.1
来期予想	22.2	69.5	8.3	13.9

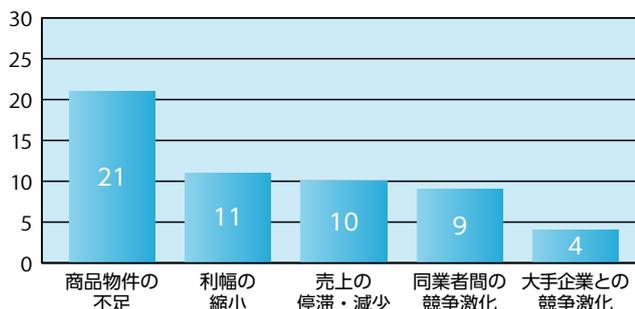
### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	11.1	80.6	8.3	2.8
当期実績	13.8	75.1	11.1	2.7
来期予想	11.1	80.6	8.3	2.8

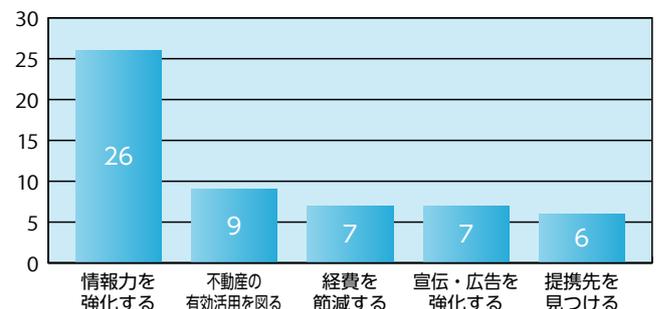
当期実績…2019年10～12月期  
来期予想…2020年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降  
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 345 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか。1つ選んでお答えください。

- 非常に良い ..... 1社
- 良い ..... 6社
- やや良い ..... 53社
- 普通 ..... 123社
- やや悪い ..... 107社
- 悪い ..... 31社
- 非常に悪い ..... 4社

問2. 貴社では、2020年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。1つ選んでお答えください。

- 非常に良い ..... 0社
- 良い ..... 12社
- やや良い ..... 52社
- 普通 ..... 138社
- やや悪い ..... 102社
- 悪い ..... 19社
- 非常に悪い ..... 2社

問3. 2020年において貴社の売上額の伸び率は、2019年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。1つ選んでお答えください。

- 30%以上の増加 ..... 4社
- 20～29%の増加 ..... 8社
- 10～19%の増加 ..... 32社
- 10%未満の増加 ..... 57社
- 変わらない ..... 126社
- 10%未満の減少 ..... 67社
- 10～19%の減少 ..... 20社
- 20～29%の減少 ..... 5社
- 30%以上の減少 ..... 4社

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。1つ選んでお答えください。

- すでに上向いている ..... 54社
- 6ヵ月以内 ..... 48社
- 1年後 ..... 57社
- 2年後 ..... 32社
- 3年後 ..... 22社
- 3年超 ..... 17社
- 業況改善の見通しは立たない ..... 85社

問5. 10月以降の貴社の経営は、消費税率引き上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。受けている影響とその理由について、1つ選んでお答えください。

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 見通しより良い影響                                       | 見通しと変わらない                              | 見通しより悪い影響                               |
| <input type="radio"/> ポイント還元制度 ..... 9社         | <input type="radio"/> 変わらない ..... 241社 | <input type="radio"/> 売上の減少 ..... 39社   |
| <input type="radio"/> 自動車・住宅等の各種税制優遇措置 ..... 3社 |  | <input type="radio"/> 利幅の縮小 ..... 17社   |
| <input type="radio"/> 食品等の軽減税率 ..... 1社         |  | <input type="radio"/> 事務負担の増加 ..... 11社 |
| <input type="radio"/> 特需の発生 ..... 0社            |  | <input type="radio"/> その他 ..... 2社      |
| <input type="radio"/> その他 ..... 2社              |  |   |

## 「第8回ビジネスマッチング with かながわ8信金」を開催します!

日	時	2020年6月11日(木) 8:50～17:00
場	所	大さん橋ホール 横浜市中区海岸通1-1-4
募集対象企業	製造・食品・物販関係	
募集規模(予定)	発注・バイヤー企業	100社
	受注・サプライヤー企業	300社
参加費	無料 ※展示出展料は有料	
募集期間	発注・バイヤー企業 2019年12月9日～2020年1月31日 受注・サプライヤー企業 2020年2月17日～2020年3月13日 ※募集予定企業数に達した場合、募集を締め切らせていただく場合がございます。	
専用ホームページURL	<a href="https://kanagawa-matching.8shinkin.jp/">https://kanagawa-matching.8shinkin.jp/</a>	

中栄信用金庫を含む神奈川県内の8信用金庫では、県内で活動される企業を中心に、新たなビジネスパートナーを見つけさせていただくため、**製造・食品・物販関係の事業者を対象とした個別商談会**を開催します。今回は、展示ブースコーナー(有料)の他、「産学官金連携の情報発信」「支援機関との相談ブースの設置」「他県との連携」等を行う予定です。

○第7回商談会の様子



詳しくは、当金庫ホームページまたはお近くの営業店までお問い合わせください。